

図2.(1) - 1

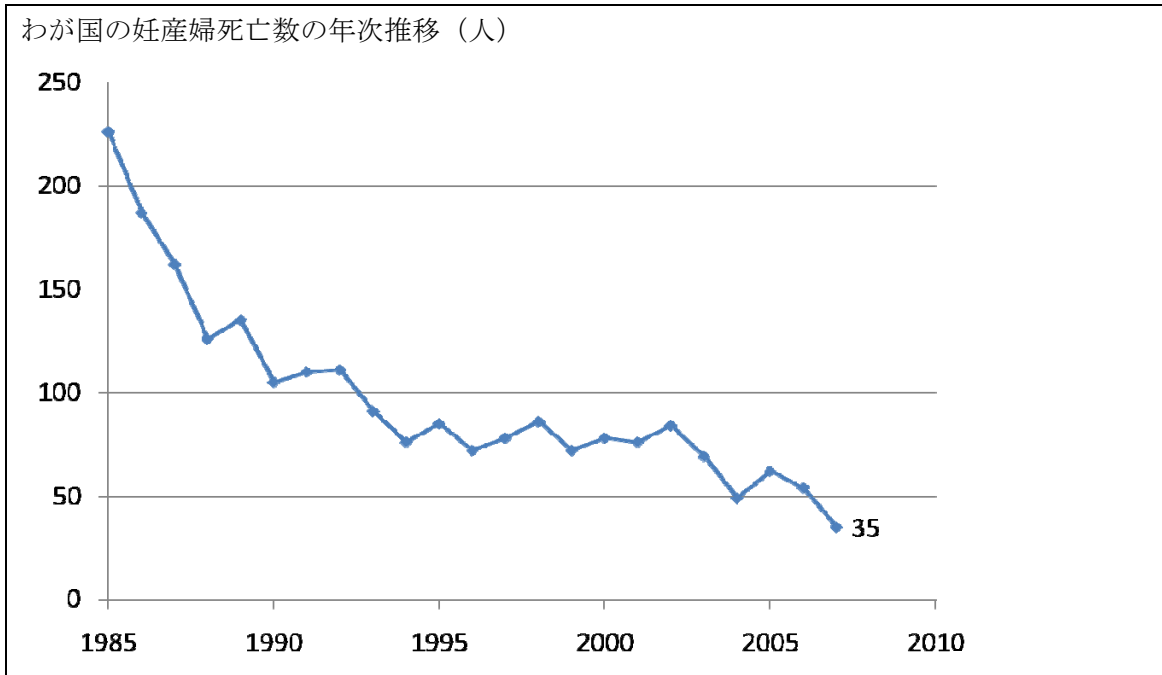


図2.(1) - 2

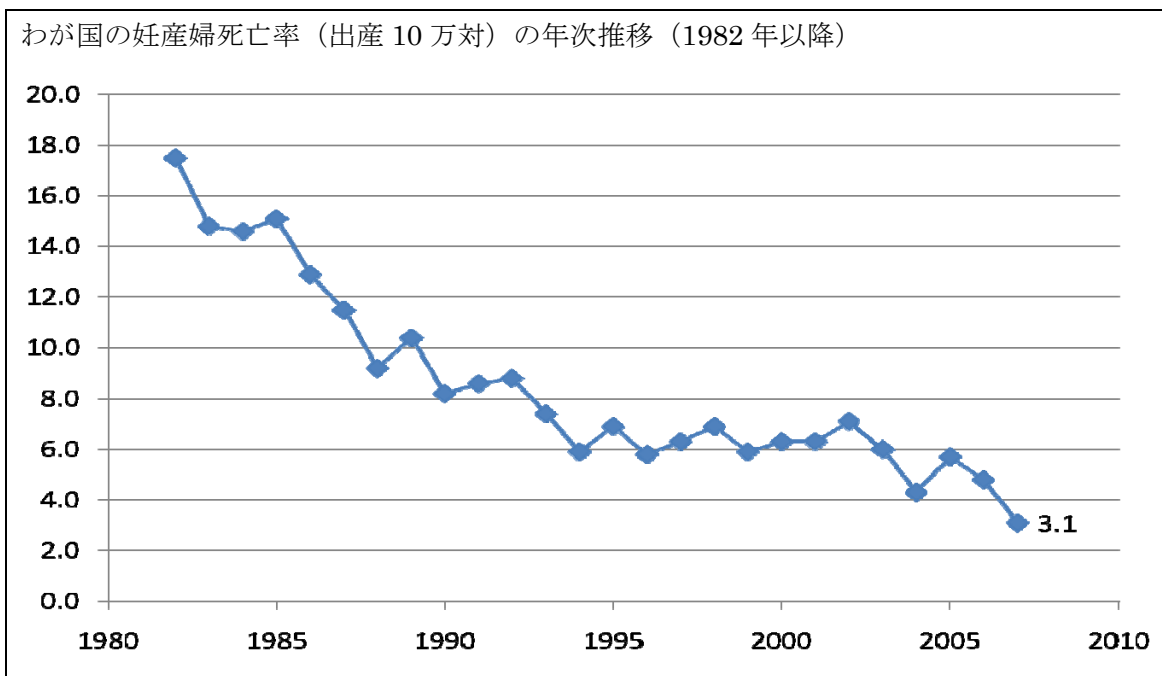


表2.(1) - 3

主要国の妊産婦死亡率：最新年次（出生10万対）

国	(年次)	妊産婦死亡率	国	(年次)	妊産婦死亡率
エジプト	(2000)	28.1	ブルガリア	(2004)	10.0
カナダ	(2003)	6.9	クロアチア	(2004)	7.4
コスタリカ	(2004)	30.5	チェコ	(2004)	5.1
キューバ	(2004)	44.0	デンマーク	(2001)	3.1
エルサルバドル	(2003)	21.7	フィンランド	(2004)	12.1
グアテマラ	(2003)	78.1	フランス	(2003)	7.4
メキシコ	(2003)	50.2	ドイツ	(2004)	5.2
プエルトリコ	(2002)	9.5	ハンガリー	(2003)	7.4
アメリカ合衆国	(2002)	9.4	アイルランド	(2002)	8.3
アルゼンチン	(2003)	46.0	イタリア	(2002)	3.2
チリ	(2003)	14.1	ラトビア	(2004)	9.8
アルメニア	(2003)	22.4	リトアニア	(2004)	16.4
アゼルバイジャン	(2002)	19.9	オランダ	(2004)	5.2
ホンコン特別行政区	(2004)	4.0	ノルウェー	(2003)	12.4
グルジア	(2001)	8.4	ポーランド	(2004)	4.8
イスラエル	(2003)	2.1	ポルトガル	(2003)	7.1
日本	(2006)	4.9	ロシア	(2004)	23.4
カザフスタン	(2004)	23.1	スロバキア	(2002)	7.9
韓国	(2004)	12.4	スロベニア	(2004)	11.1
クウェート	(2002)	6.9	スペイン	(2004)	4.6
キルギスタン	(2004)	50.9	スウェーデン	(2002)	4.2
シンガポール	(2003)	5.3	スイス	(2004)	5.5
タジキスタン	(2001)	23.3	ウクライナ	(2004)	13.1
アルバニア	(2003)	2.1	イギリス	(2004)	7.7
オーストリア	(2004)	3.8	オーストラリア	(2003)	3.2
ベラルーシ	(2003)	20.3	ニュージーランド	(2003)	7.1

図2. (1) - 4

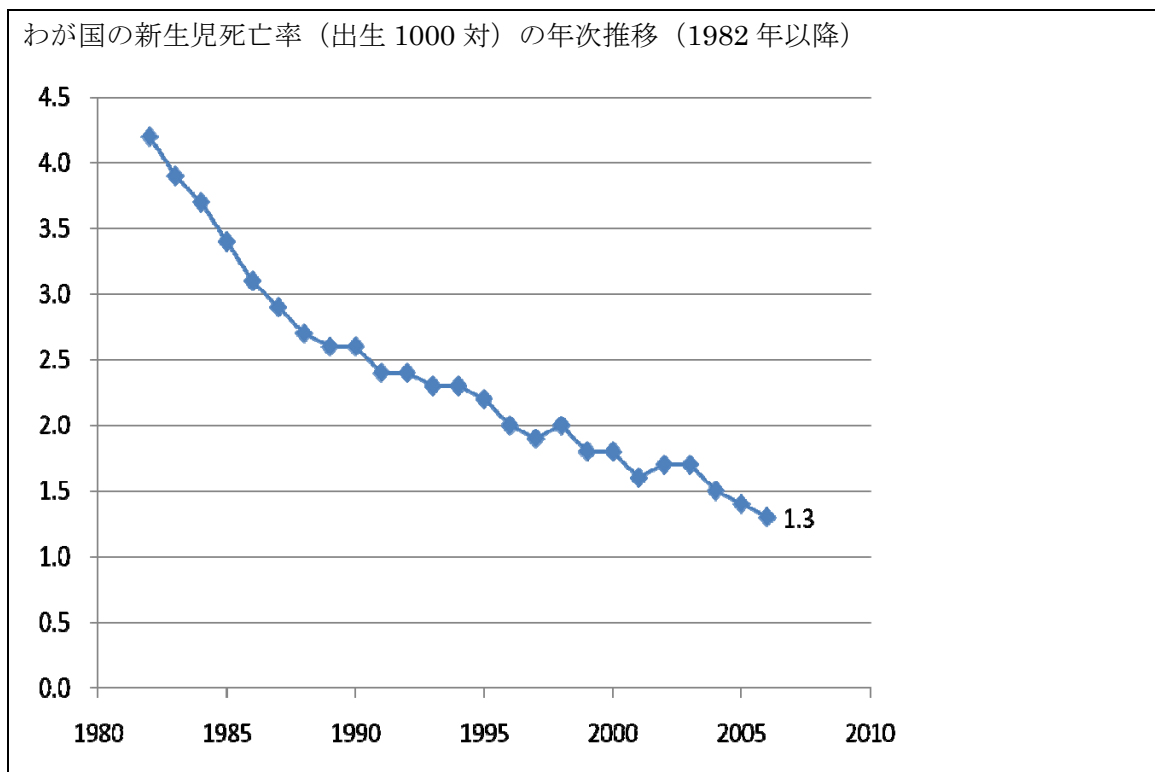


表2. (1) - 5

主要国の乳児死亡率（最新年次）

国	(年次)	乳児死亡率	国	(年次)	乳児死亡率	国	(年次)	乳児死亡率
エジプト	(2005)	20.1	フィリピン	(2003)	13.7	アイルランド	(2005)	4.0
カナダ	(2004)	5.3	シンガポール	(2006)	3.1	イタリア	(2005)	4.6
コスタリカ	(2006)	9.7	サウジアラビア	(2004)	18.4	オランダ	(2005)	4.9
キューバ	(2006)	5.3	スリランカ	(2001)	12.2	ノルウェー	(2005)	3.1
プエルトリコ	(2005)	9.3	トルコ	(2004)	24.6	ポーランド	(2005)	6.4
アメリカ合衆国	(2004)	6.8	ウズベキスタン	(2001)	18.4	ポルトガル	(2004)	3.8
アルゼンチン	(2005)	13.3	オーストリア	(2005)	4.2	ルーマニア	(2005)	15.0
チリ	(2004)	8.8	ベルギー	(2005)	4.4	ロシア	(2004)	11.5
ウルグアイ	(2005)	12.7	ブルガリア	(2005)	10.4	スロバキア	(2005)	7.2

ベネズエラ	(2002)	15.5	チェコ	(2005)	3.4	スペイン	(2005)	3.8
香港	(2006)	1.8	デンマーク	(2005)	4.4	スウェーデン	(2005)	2.4
インド	(2005)	58.0	フィンランド	(2005)	3.0	スイス	(2005)	4.2
日本	(2006)	2.6	フランス	(2004)	3.9	ウクライナ	(2005)	10.0
韓国	(2004)	4.6	ドイツ	(2005)	3.9	イギリス	(2003)	5.3
マレーシア	(2006)	6.1	ギリシャ	(2005)	3.8	オーストラリア	(2005)	5.0
パキスタン	(2005)	76.7	ハンガリー	(2005)	6.2	ニュージーランド	(2005)	5.1

図2. (1) - 6

低出生体重児の出生率

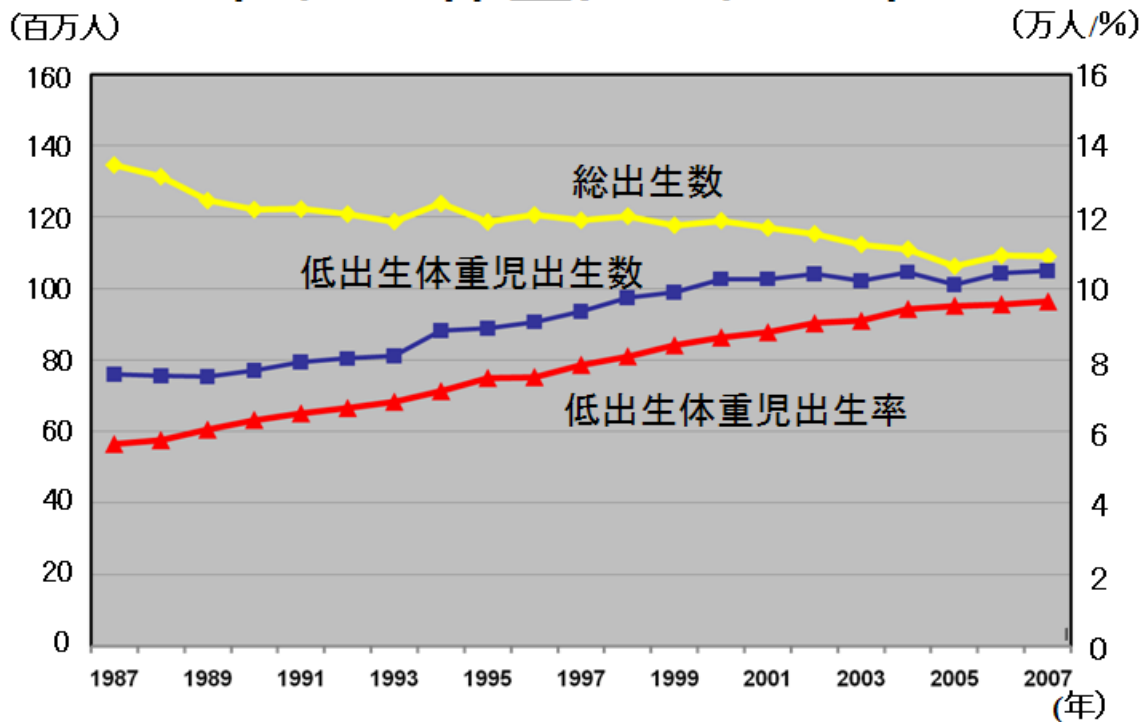


図2. (1) - 7

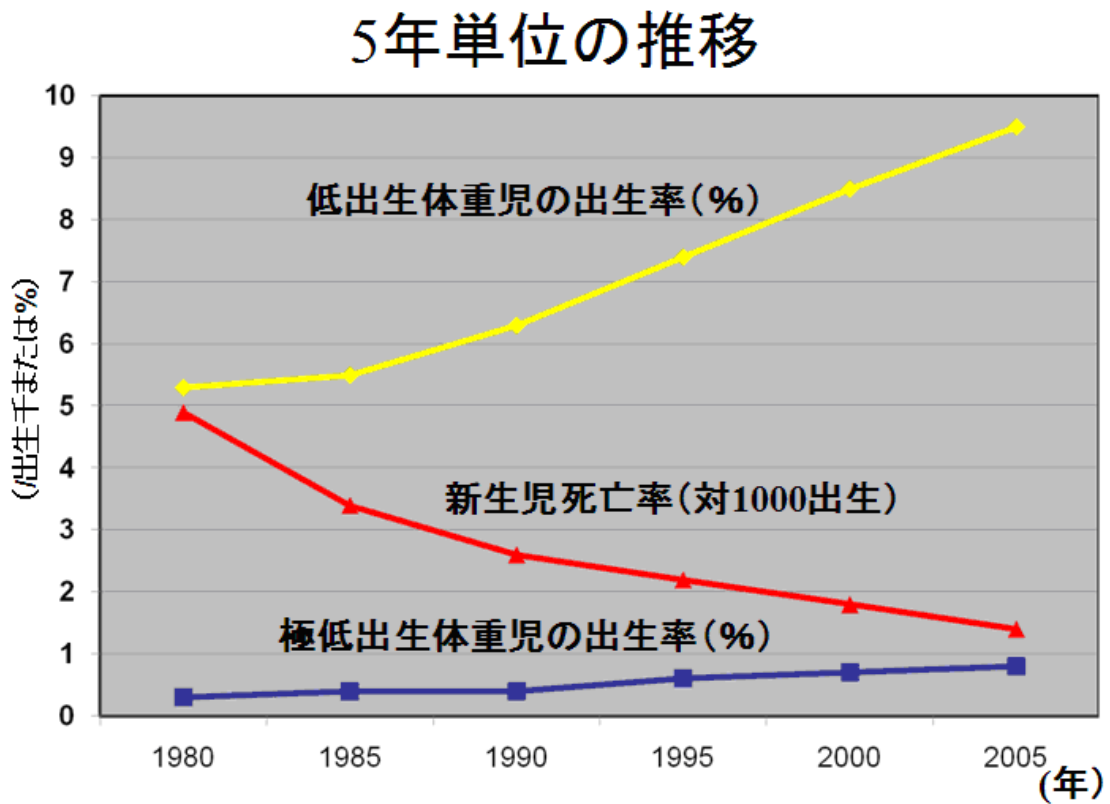
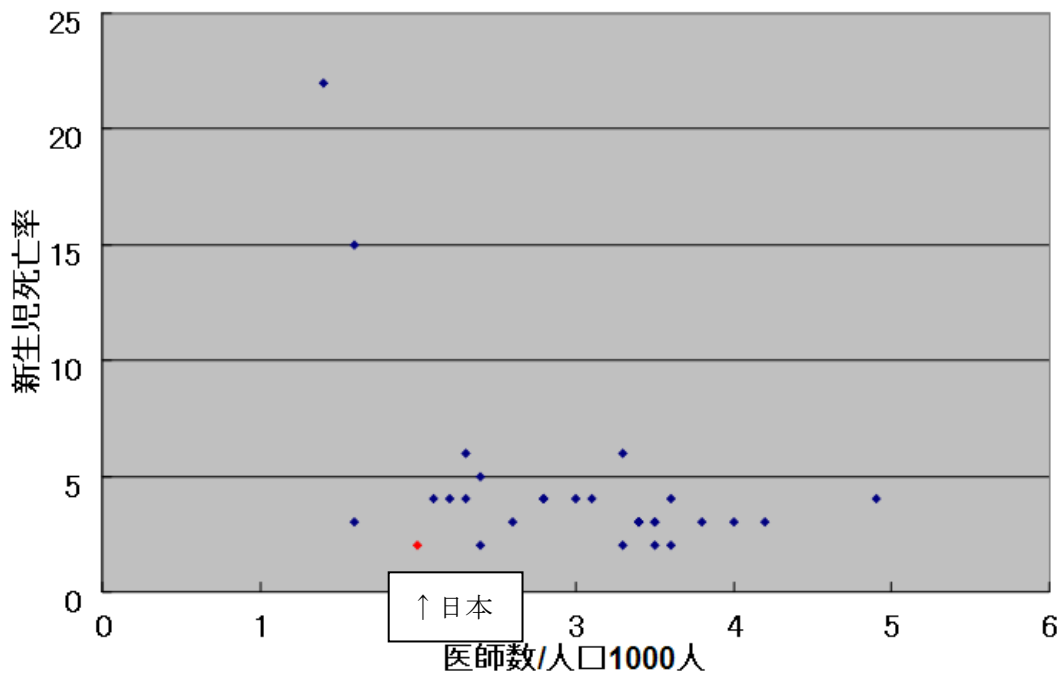


図2. (1) - 8

図2. (1) - 6 医師数と新生児死亡率の関係(2000年)



大都市の産科・周産期傷病者搬送事案における現場滞在時間30分以上の事案が占める割合

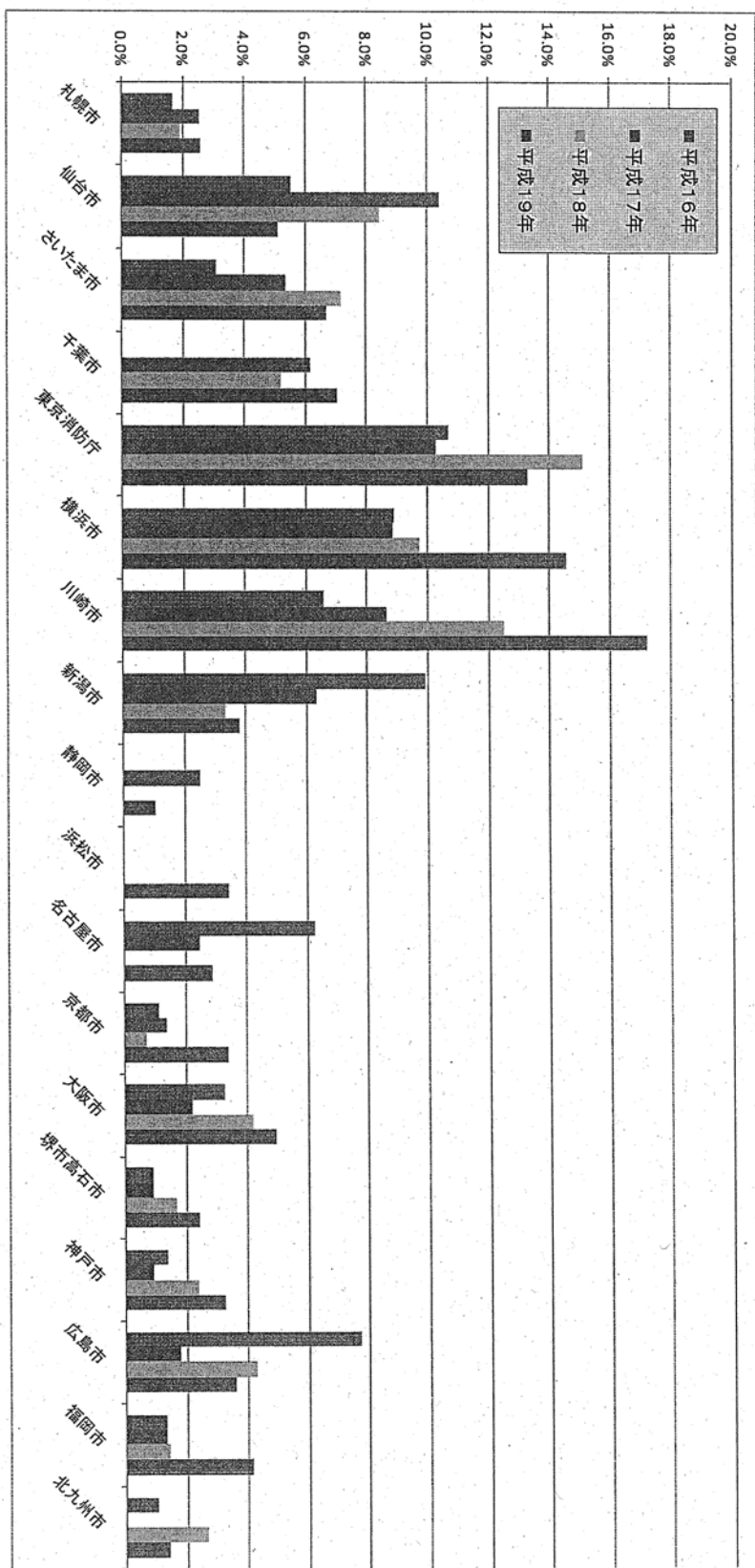


表 2. (3) - 1

表2. (3)－2新生児集中治療管理室(NICU)の施設・病床数の推移

JISコード	都道府県	2002年		2005年		2005 —2002
		施設数	病床数	施設数	病床数	
1	北海道	16	106	15	97	-9
2	青森県	4	38	4	38	0
3	岩手県	1	21	3	29	8
4	宮城県	2	15	4	30	15
5	秋田県	2	13	2	13	0
6	山形県	2	14	2	14	0
7	福島県	5	30	6	52	22
8	茨城県	4	39	5	56	17
9	栃木県	2	21	2	21	0
10	群馬県	4	31	4	32	1
11	埼玉県	9	85	7	97	12
12	千葉県	8	72	7	87	15
13	東京都	23	206	22	189	-17
14	神奈川県	18	134	18	160	26
15	新潟県	5	32	4	38	6
16	富山県	3	15	4	21	6
17	石川県	1	6	1	6	0
18	福井県	1	20	1	9	-11
19	山梨県	3	15	3	18	3
20	長野県	6	33	6	43	10
21	岐阜県	4	40	5	46	6
22	静岡県	9	92	13	126	34
23	愛知県	12	77	14	98	21
24	三重県	5	26	5	32	6
25	滋賀県	1	9	2	15	6
26	京都府	9	51	8	49	-2
27	大阪府	22	168	26	199	31
28	兵庫県	13	96	11	101	5
29	奈良県	4	34	3	40	6
30	和歌山県	4	32	4	38	6
31	鳥取県	1	9	1	9	0
32	島根県	2	30	3	15	-15

33	岡山県	5	33	5	42	9
34	広島県	4	33	6	30	-3
35	山口県	6	48	6	54	6
36	徳島県	1	6	2	21	15
37	香川県	3	17	3	21	4
38	愛媛県	2	8	3	27	19
39	高知県	3	12	3	15	3
40	福岡県	13	117	11	114	-3
41	佐賀県	1	3	1	3	0
42	長崎県	3	25	3	28	3
43	熊本県	1	15	3	24	9
44	大分県	4	18	4	27	9
45	宮崎県	4	15	6	37	22
46	鹿児島県	4	43	3	44	1
47	沖縄県	6	119	6	36	-83
	合計	265	2122	280	2341	219

出典：厚生労働省「医療施設静態調査」

○予算額の推移（過去5年）

（単位：百万円）

年度	16	17	18	19	20
予算額	713	3,623 の内数	3,628 の内数	4,191 の内数	4,782 の内数

※平成17年度以降の予算額欄については、三位一体改革により、各自治体の主体的かつ弾力的な事業運営を可能とするため、従来の周産期医療対策事業、総合周産期母子医療センター運営事業、不妊治療に対する支援事業等を再編・整理し補助金の統合「母子保健医療対策等総合支援事業」を図ったことから内数となっている。

○周産期医療対策事業等の予算額の推移について

（単位：百万円）

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
周産期医療対策事業	50	123	123	103	134	135	188	190	198
総合周産期母子医療センター運営事業	137	333	338	282	366	387	455	480	515
特定不妊治療費助成事業	—	—	—	—	—	—	—	—	2,540
合 計	187	456	461	385	500	522	643	670	3,253

参考資料：周産期医療対策事業等の予算額の推移について